

NADA

ミニドットプリンタ

MODEL

MP-310/C

MP-310S/CS

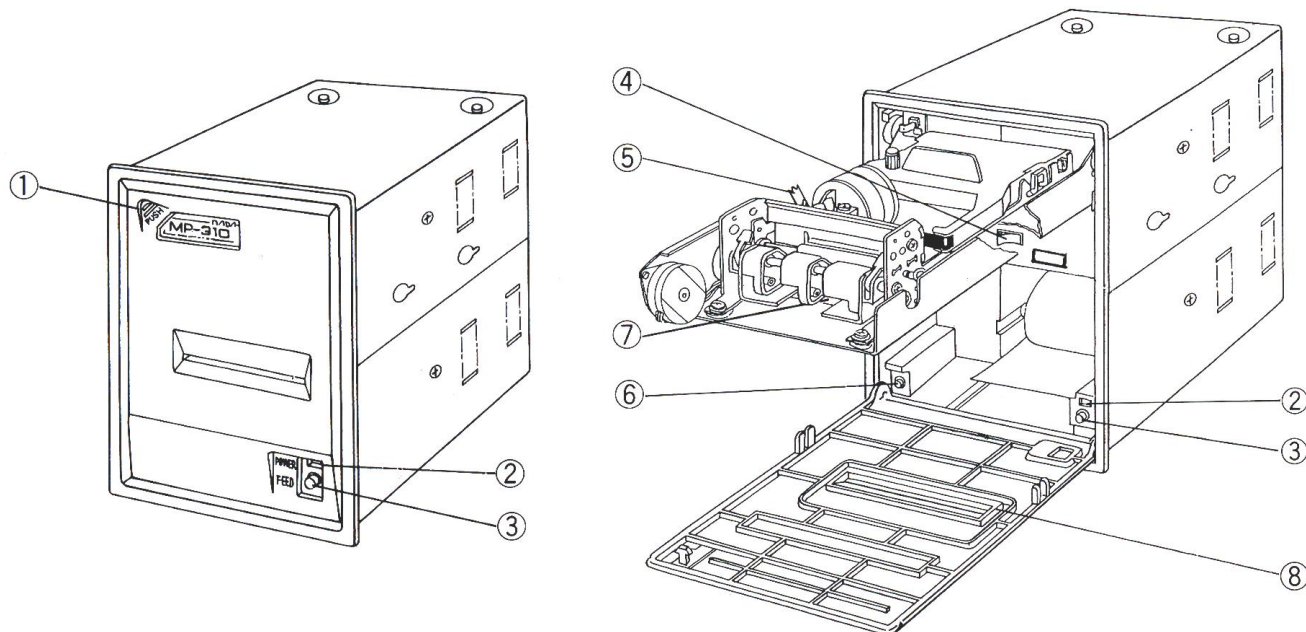
操作
説明書

このたびは、ミニドット プリンタをお買いあげいただき、
まことにありがとうございました。

正しくご使用いただくために、この操作説明書をよくお読
みのうえ、末永く、ご愛用くださるようお願い申し上げます。

ナダ電子株式会社

技2S-110822

■各部の名称と働き**① 前面パネルロック部**

ここを押して前面パネルのロック、解除を行います。

② インジケータ

電源ONで赤または緑に点灯します。

ペーパーエンド時には赤になりディセレクト状態となります。

動作中エラー時には赤と緑が交互に点滅します。ただちに電源をOFFし紙詰まり等があれば取り除き、再度電源をONして下さい。

③ フィードスイッチ

このスイッチを押すと最初はゆっくり、押し続けると途中から速く紙送りします。

*このスイッチを押しながら電源をONするとテスト印字ができます。(参照：自己診断機能)

注1) FEED動作はプリンタがセレクト及びディセレクトのいずれの状態においても有効です。

注2) ページ長指定を行っている場合、FEEDスイッチにより紙送り動作をさせると送り量がページ長から減算されます。

注3) FEED動作によりペーパーをメカユニットにセットする場合に紙詰まりが起こらないように注意して下さい。もし紙詰まりが発生した時は、プリンタの電源を切り、ピンセットなどでペーパーをメカユニットから取り除いた後、再度電源を入れペーパーをセットし直して下さい。

④ 電源スイッチ

電源のON/OFFを行います。

⑤ ヘッドギャップ調整レバー

紙の厚み等によってこのレバーを上下し、ヘッドの隙間を調整します。

通常、下から2段目くらいにし、2Pや3Pの紙は3段目か4段目以上にします。紙が詰まる場合にはこのレバーを上げ、隙間を広げて下さい。

⑥ セレクトスイッチ

このスイッチを押す毎にセレクト（オンライン）、ディセレクト（オフライン）が交互に切り替わります。

セレクト……インジケータ緑（外部からのデータ受信可能）

ディセレクト……インジケータ赤（外部からのデータ受信禁止）

⑦ ペーパーエンドセンサ

このセンサで紙切れを検出しています。

紙が正しくセットされているにもかかわらずインジケータが赤になるときは柔らかい布等で軽く拭いて掃除して下さい。

⑧ 紙出口

ここに紙を通しペーパーカットも行います。

⑨ ディップスイッチ設定用窓

中の基板上的ディップスイッチの設定を変更するための窓です。

設定変更時は、必ず取扱説明書を参照し、むやみに触れないようにして下さい。

⑩ インターフェースコネクタ

ここに信号ケーブルを接続するコネクタがあります。

※アイソレート仕様の場合、コネクタは点線部の場所になります。

⑪ 銘板

モデル名とシリアル番号が表示されています。

⑫ アース端子

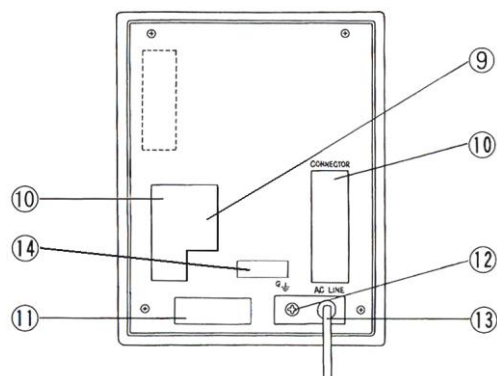
筐体アースを接続します。

⑬ AC電源コード（AC100V仕様のみ）

電源（AC100V）を供給します。

⑭ DC電源コネクタ（DC24V仕様のみ）

電源（DC24V）の供給コネクタです。



* 自己診断機能 *

フィードスイッチを押しながら電源ONすると下記のテストパターンを印字開始します。

モデル名

インターフェース

ディップスイッチの設定SW1～SW4の内容


バージョン


漢字文字サンプル印字（漢字無しの時、カンジオプションナシと白抜印字）

ANK文字サンプル印字（5×7 5×7EXPAND 7×7 7×7EXPAND 8×16
8×16EXPAND 8×8）

BARコード印字（インターリーブ2 OF 5, 2 OF 7, 3 OF 9）

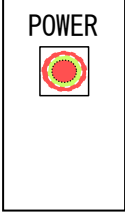
■ インジケータの表示一覧

 : 緑 点灯

 : 赤 点灯

 : 赤と緑の交互点滅

 : 赤の点滅

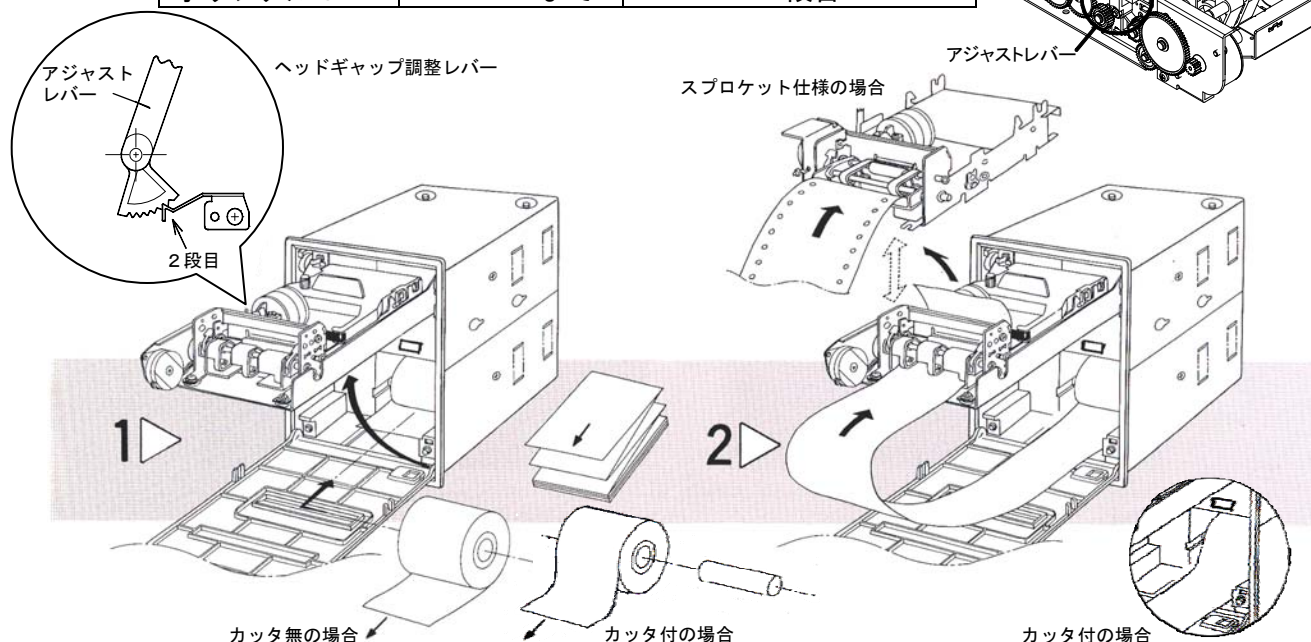
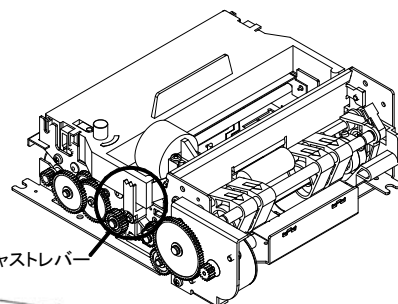
ランプの状態	内容	対処方法
	印刷可能 (セレクト) 状態	印刷出来ます。
	ペーパーエンド (用紙切れ)	用紙をセットして下さい。
	印刷不可 (ディセレクト) 状態	“SEL” スイッチを押してセレクト状態にして下さい。
	メカ・エラー	メカの故障、紙詰まり、ゴミが溜まる等が原因で印字ヘッドが正常に動作出来ない状態にあります。 電源をOFFにして原因を取り除いて下さい。 ※ 印字ヘッドの位置が検出できない場合は、オレンジ色に点滅します。
	カッター・エラー	カッターが装着されていないか、カッターの故障が原因で、カッターが動作出来ない状態にあります。 電源をOFFにして原因を取り除いて下さい。 ※ カッター仕様時のみ該当します。
	マークセンサ検出エラー	マークセンサが用紙のマーク位置を検出できない状態にあります。 マークの大きさが仕様合っているか確認して下さい。 マークセンサの調整を行って下さい。 ※ マークセンサ仕様時のみ該当します。
	サーミスタ・エラー	印字ヘッドが高温状態にあって印字出来ない状態にあります。 電源をOFFにして、温度を下げてください。

■ペーパーセット方法

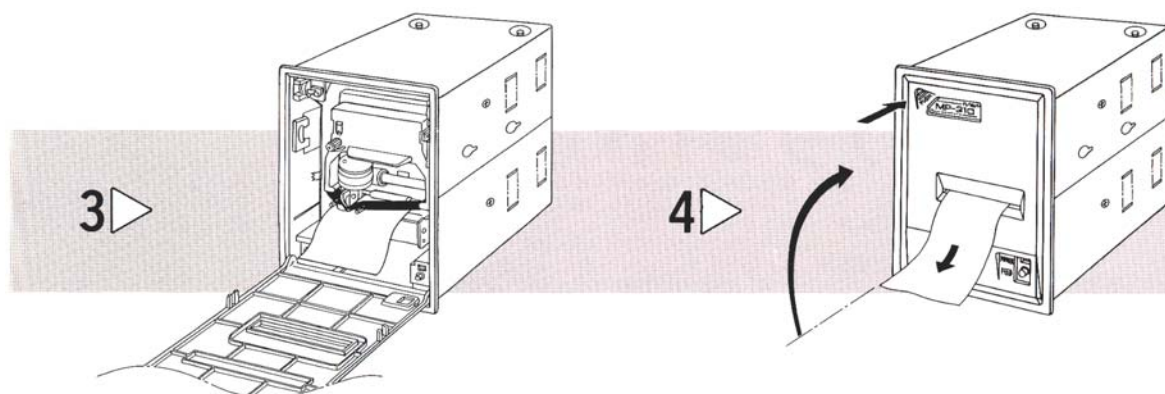
1. 前面パネルを開け、ヘッドギャップ調整レバーを上下し最適なギャップにします。一度合わせれば紙の種類を変えない限り再度調整の必要はありません。メカユニットを手前に持ち上げます（ロックすることもできます）。
 カッタ付の場合は、カッタユニットを起こします。
 次にロールシャフトを通し（折りたたみ紙はそのまま）図のように奥にセットします。セットする際はロール紙の送り方向に注意して下さい。
2. セットした紙をプリンタメカのペーパー挿入口から差し込みフィードスイッチを押して送り込みます。（スプロケット仕様は挿入口が違うので注意）紙が完全に出るのを確認するまでフィードスイッチを押し続けて下さい。
 カッタ付の場合は、カッタユニットに紙を通します。

アジャストレバーの位置

複写枚数	総厚 (mm)	アジャストレバーの位置
オリジナルのみ	0. 10まで	2 段目
オリジナル+1	0. 14まで	3 段目
オリジナル+2	0. 20まで	3 段目



3. カッタ付の場合は、カッタユニットを元に戻します。
 メカユニットをゆっくり下げロックするところまで押し込みます。
 フィードスイッチを押し紙のたるみを取り除きます。セレクトスイッチを押し、インジケータが緑になるのを確認します。
4. 紙出口に紙を通し、前面パネルを持ち上げ、パネルロックを押して閉めます。



■リボンカセット変更方法

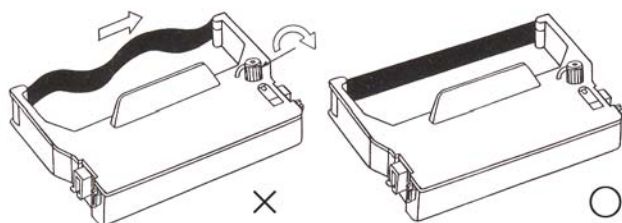
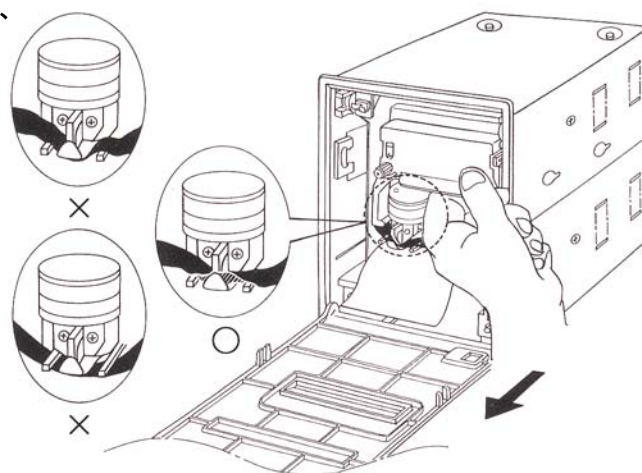
リボンのつまみを手前に引き、メカユニットからカセットを取り外します。

装着するときには、まずリボンのたるみを取り除き、

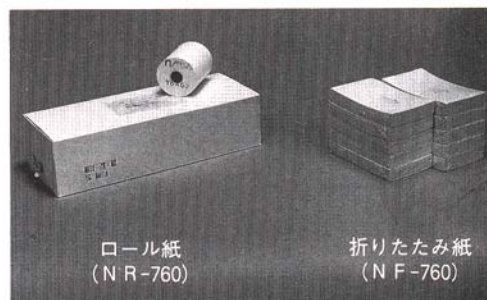
まっすぐにメカユニットにはめ込みます。

リボンは、必ずヘッドリボンガイドの上側の隙間に差し込み、ノブを矢印方向に回すとたるみが取れ正しくセットされます。

リボンガイドの下側にリボンが入っている場合には、紙詰まり等不良の原因となりますので、ただちにカセットを取り外し、正しくセットしなおして下さい。



○リボンカセット RC-300B (黒色) ○記録紙



○記録紙

普通ロール紙

NR-760 (76mm幅×60φ×35m長さ)

2P NR-760-2P (76mm幅×60φ×30m長さ)

普通折畳み紙

NF-760 (76mm幅×5^{インチ}×35m長さ)

スプロケットロール紙

NR-760S (76mm幅×60φ×35m長さ)

NR-890S (89mm幅×60φ×35m長さ)

スプロケット折畳み紙

NF-760S (76mm幅×5^{インチ}×35m長さ)

NF-890S (89mm幅×6^{インチ}×35m長さ)

2P NF-760S-2P (76mm幅×5^{インチ}×20m長さ)

2P NF-890S-2P (89mm幅×6^{インチ}×20m長さ)

3P NF-760S-3P (76mm幅×5^{インチ}×13m長さ)

3P NF-890S-3P (89mm幅×6^{インチ}×13m長さ)

○リボンカセット

RC-300B (黒色)

リボン寿命………160万文字

※製品改良に伴い外観、仕様その他について変更することがありますのでご了承下さい。
機器設定にあたっては最新の仕様をお問い合わせ下さい。



ナダ電子株式会社

本 社	神戸市東灘区本山南町1丁目4番43号 TEL(078)413-1111 FAX(078)412-2222	〒658-0015
東 京(営)	東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル TEL(03)3455-4230 FAX(03)3455-4249	〒108-0014
名古屋(営)	名古屋市名東区上社1-1304 北村第三ビル TEL(052)776-1921 FAX(052)775-6080	〒465-0025
福 岡(営)	福岡市博多区博多駅南1丁目7-16 オーリン7号ビル TEL(092)471-8305 FAX(092)471-8355	〒812-0016